

## 令和3年度病床機能報告の結果について

- 医療法第30条の13に基づく病床機能報告は、地域における病床の機能の分化及び連携の推進のため、一般病床又は療養病床を有する医療機関が都道府県に病床の機能や入院患者に提供する医療の内容等を報告する制度です。
- このたび、令和3年度の当報告の結果をとりまとめましたのでお知らせします。
- なお、「定量的基準に基づく病床機能の推計値」は各構想区域において平成31年度に合意を得た推計方法を用いて算定しています。

**【問合せ先】**

配付資料：健康福祉政策課地域医療構想推進室 電話：043-223-2457 Mail：chihuku@mz.pref.chiba.lg.jp

報告関係：医療整備課医療指導班 電話：043-223-3884 Mail：iryoub@bz.pref.chiba.lg.jp

## 病床機能報告における4医療機能について

- 各医療機関(有床診療所を含む。)は、毎年、病棟単位で、医療機能の「現状」と「今後の方向」を、自ら1つ選択して、都道府県に報告。

医療機能の名称	医療機能の内容
高度急性期機能	○ 急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能 ※高度急性期機能に該当すると考えられる病棟の例 救命救急病棟、集中治療室、ハイケアユニット、新生児集中治療室、新生児治療回復室、小児集中治療室、総合周産期集中治療室であるなど、急性期の患者に対して診療密度が特に高い医療を提供する病棟
急性期機能	○ 急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能
回復期機能	○ 急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能。 ○ 特に、急性期を経過した脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等の患者に対し、ADLの向上や在宅復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に提供する機能(回復期リハビリテーション機能)。
慢性期機能	○ 長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能 ○ 長期にわたり療養が必要な重度の障害者(重度の意識障害者を含む)、筋ジストロフィー患者又は難病患者等を入院させる機能

- 回復期機能については、「リハビリテーションを提供する機能」や「回復期リハビリテーション機能」のみではなく、リハビリテーションを提供していなくても「急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療」を提供している場合には、回復期機能を選択できる。
- 地域包括ケア病棟については、当該病棟が主に回復期機能を提供している場合は、回復期機能を選択し、主に急性期機能を提供している場合は急性期機能を選択するなど、個々の病棟の役割や入院患者の状態に照らして、医療機能を適切に選択すること。
- 特定機能病院においても、病棟の機能の選択に当たっては、一律に高度急性期機能を選択するのではなく、個々の病棟の役割や入院患者の状態に照らして、医療機能を適切に選択すること。

## (参考) 病床機能の定量的な基準による推計方法

「定量的基準に基づく病床機能の推計値」は各構想区域において平成31年度に合意を得た以下の推計方法を用いて算定している。

### 1) 実態把握調査（区域内の全病院を対象）を実施した構想区域 【香取海匝・山武長生夷隅・市原】

- 平成30年度に行った調査結果を活用し、病床機能ごとに病床単位で病床数を集計する。

### 2) 実態把握調査を実施していない、又は一部の病院しか調査を実施していない構想区域 【千葉・東葛南部・東葛北部・印旛・安房・君津】

- ① 医療機能が明確な病床
  - 救命救急病棟、回復期リハビリテーション病棟、療養病棟等は、各機能に応じ病床数を集計する。

② 高度急性期機能

- 東葛南部、印旛の構想区域は、平成30年度に行った調査結果を活用し、病棟当たりの平均医療資源投入量47,000円を超える病棟を高度急性期とみなして病床数を集計する。
- その他の構想区域は、救命救急やICU等において多く提供されている医療の算定回数を設定し、当該基準を超えるものを高度急性期とみなして病床数を集計する。

※R3年度病床機能報告より、手術等の診療実績の報告対象期間の通年化に伴い、当該基準も通年に補正。

③ 急性期・回復期機能

- 病棟に各病期の患者が混在していた実態把握調査の結果を活用し、「急性期60:回復期40」の割合を乗じて、病床数を集計する。

※千葉、東葛南部、東葛北部は、平均在院日数や病床稼働率等を考慮して割合を補正

【千葉・東葛北部】 70:30

【東葛南部】 75:25

# 令和3年度病床機能報告と定量的基準に基づく病床機能の推計値

## 1 必要病床数との比較

(単位：床)

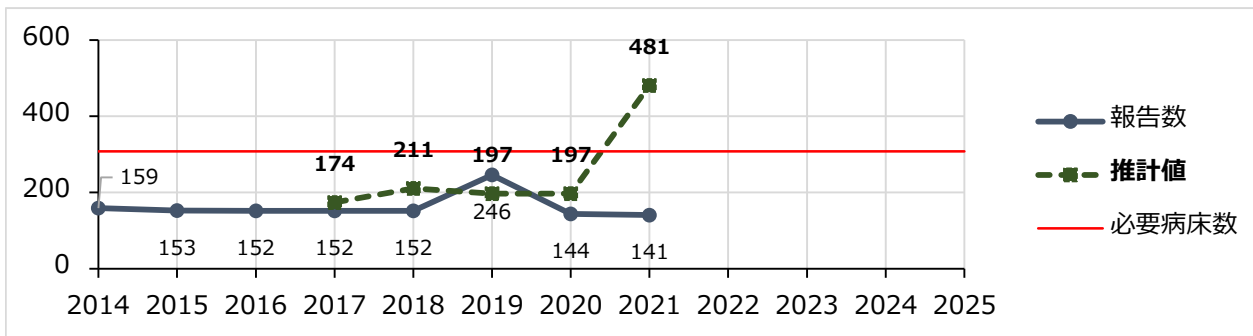
区域	医療機能	必要病床数 (R7年) A	病床機能報告 (R3.7.1) B	差し引き B-A		定量的基準に基づく病床数		
						R3推計値 C	差し引き C-A	
千葉	高度急性期	1,077	1,019	▲58	不足	1,169	92	過剰
	急性期	3,028	4,042	1,014	過剰	2,765	▲263	不足
	回復期	2,520	1,186	▲1,334	不足	1,726	▲794	不足
	慢性期	1,859	1,729	▲130	不足	1,797	▲62	不足
	休棟等	-	146			665		
	計	8,484	8,122	▲362	不足	8,122	▲362	不足
東葛南部	高度急性期	1,376	1,661	285	過剰	1,531	155	過剰
	急性期	4,783	5,900	1,117	過剰	4,599	▲184	不足
	回復期	4,072	1,844	▲2,228	不足	2,847	▲1,225	不足
	慢性期	2,779	1,899	▲880	不足	1,710	▲1,069	不足
	休棟等	-	393			1,010		
	計	13,010	11,697	▲1,313	不足	11,697	▲1,313	不足
東葛北部	高度急性期	1,386	2,077	691	過剰	1,441	55	過剰
	急性期	4,227	4,482	255	過剰	3,922	▲305	不足
	回復期	3,647	1,241	▲2,406	不足	2,245	▲1,402	不足
	慢性期	2,439	1,879	▲560	不足	1,763	▲676	不足
	休棟等	-	496			804		
	計	11,699	10,175	▲1,524	不足	10,175	▲1,524	不足
印旛	高度急性期	594	1,579	985	過剰	863	269	過剰
	急性期	1,947	2,304	357	過剰	1,940	▲7	不足
	回復期	1,625	698	▲927	不足	1,711	86	過剰
	慢性期	1,382	1,779	397	過剰	1,384	2	過剰
	休棟等	-	61			523		
	計	5,548	6,421	873	過剰	6,421	873	過剰
香取海匝	高度急性期	289	67	▲222	不足	157	▲132	不足
	急性期	745	1,566	821	過剰	867	122	過剰
	回復期	587	269	▲318	不足	619	32	過剰
	慢性期	560	841	281	過剰	861	301	過剰
	休棟等	-	108			347		
	計	2,181	2,851	670	過剰	2,851	670	過剰
山武長生夷隅	高度急性期	104	32	▲72	不足	74	▲30	不足
	急性期	887	1,559	672	過剰	689	▲198	不足
	回復期	946	361	▲585	不足	797	▲149	不足
	慢性期	994	1,262	268	過剰	1,121	127	過剰
	休棟等	-	171			704		
	計	2,931	3,385	454	過剰	3,385	454	過剰
安房	高度急性期	308	141	▲167	不足	481	173	過剰
	急性期	602	1,111	509	過剰	615	13	過剰
	回復期	358	202	▲156	不足	241	▲117	不足
	慢性期	373	496	123	過剰	530	157	過剰
	休棟等	-	180			263		
	計	1,641	2,130	489	過剰	2,130	489	過剰
君津	高度急性期	232	272	40	過剰	270	38	過剰
	急性期	806	1,069	263	過剰	748	▲58	不足
	回復期	810	204	▲606	不足	543	▲267	不足
	慢性期	522	741	219	過剰	625	103	過剰
	休棟等	-	311			411		
	計	2,370	2,597	227	過剰	2,597	227	過剰
市原	高度急性期	284	100	▲184	不足	154	▲130	不足
	急性期	826	1,411	585	過剰	1,046	220	過剰
	回復期	695	391	▲304	不足	695	0	
	慢性期	335	216	▲119	不足	223	▲112	不足
	休棟等	-	48			48		
	計	2,140	2,166	26	過剰	2,166	26	過剰
計	高度急性期	5,650	6,948	1,298	過剰	6,140	490	過剰
	急性期	17,851	23,444	5,593	過剰	17,191	▲660	不足
	回復期	15,260	6,396	▲8,864	不足	11,424	▲3,836	不足
	慢性期	11,243	10,842	▲401	不足	10,014	▲1,229	不足
	休棟等	-	1,914			4,775		
	計	50,004	49,544	▲460	不足	49,544	▲460	不足

※ 本表の「休棟等」には非稼働、健診のための病棟などのほか、令和3年度病床機能報告の対象医療機関のうち未報告の病床等(1,284床)を含む。  
また、推計値の「休棟等」には、診療実績等のデータの欠損により分類不能となった病棟も含まれる。

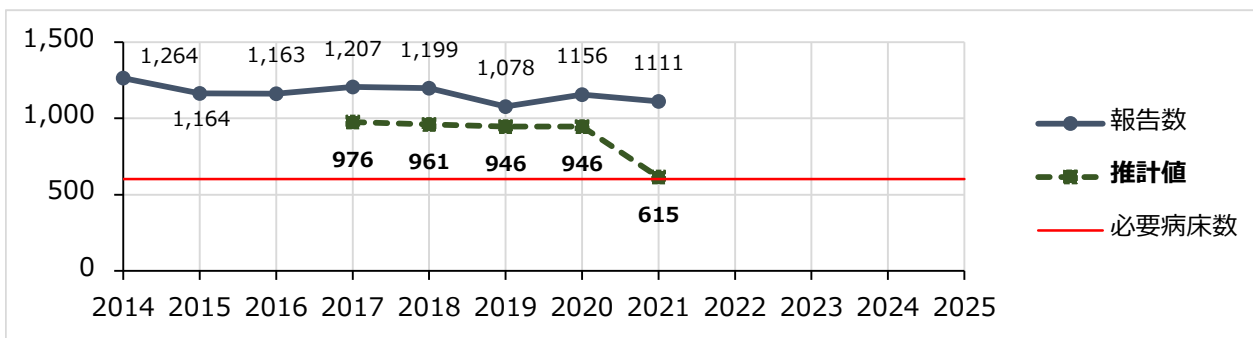
## 2 当該医療圏における病床機能別病床数の推移（報告数・推計値）

圏域名	安房
-----	----

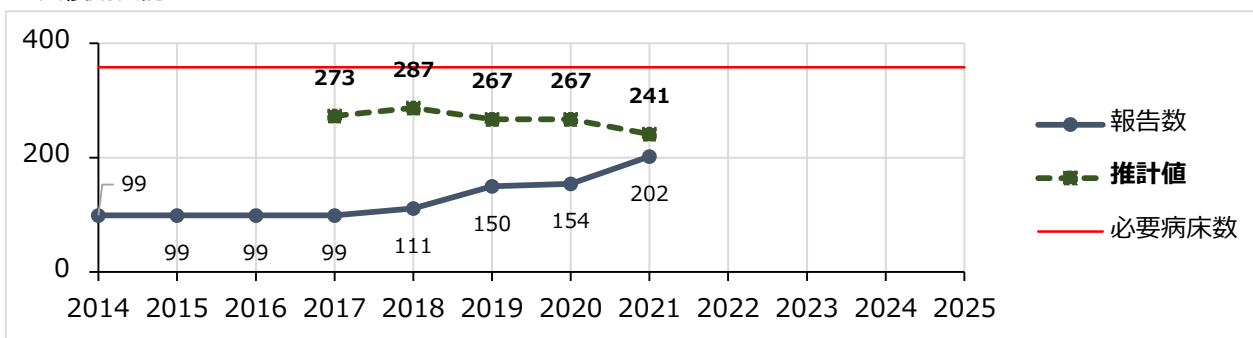
### ●高度急性期機能



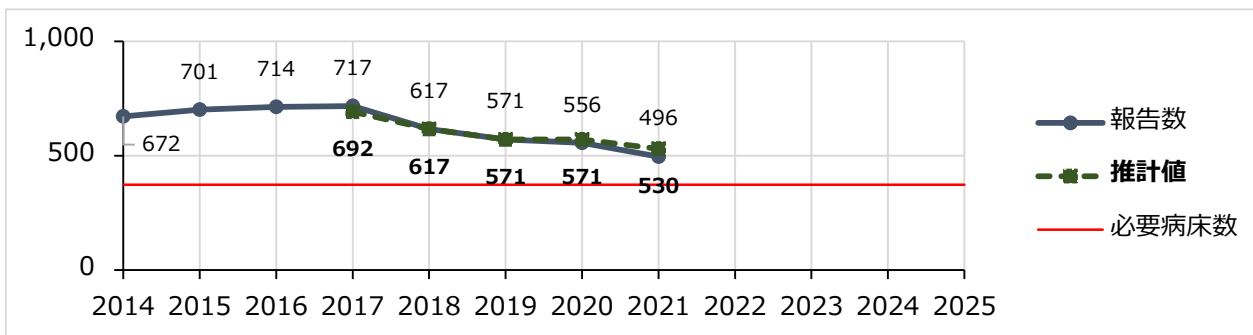
### ●急性期機能



### ●回復期機能



### ●慢性期機能



※ 病床機能報告の一部又は全部が未報告の医療機関の影響により、機能別病床数が増減することがある点に御留意ください。  
 ※ 2020(R2)病床機能報告は診療実績等のデータが含まれていないことから、定量的基準に基づく病床機能の推計未実施のため、2019の推計値を再掲。

### 3 令和3年度病床機能報告 施設別病床数

安房保健医療圏

No	医療機関名称	4機能計								休棟等			
		高度急性期		急性期		回復期		慢性期					
		2021	2025	2021	2025	2021	2025	2021	2025	2021	2025		
【病院】													
1	医療法人沖縄徳洲会館山病院	0	0	57	57	43	43	108	108	208	208	0	0
2	医療法人博正会北条病院	0	0	0	0	0	0	48	48	48	48	0	0
3	社会福祉法人太陽会安房地域医療センター	0	0	149	149	0	0	0	0	149	149	0	0
4	医療法人社団寿会 小林病院	0	0	0	0	0	0	84	84	84	84	0	0
5	医療法人鉄蕉会亀田リハビリテーション病院	0	0	0	0	56	56	0	0	56	56	0	0
6	医療法人鉄蕉会亀田総合病院	141	141	724	724	0	0	0	0	865	865	0	0
7	医療法人明星会東条病院	0	0	52	52	0	0	0	0	52	52	0	0
8	医療法人社団宏和会エビハラ病院	0	0	0	0	0	0	178	178	178	178	0	0
9	医療法人三紫会小田病院	0	0	0	0	0	0	60	60	60	60	0	0
10	鴨川市立国保病院	0	0	0	0	52	52	18	0	70	52	0	0
11	南房総市立富山国保病院	0	0	0	0	51	51	0	0	51	51	0	0
12	医療法人光洋会三芳病院	0	0	0	21	0	0	0	0	0	21	21	0
13	鋸南町国民健康保険鋸南病院	0	0	32	25	0	0	0	34	32	59	34	0
【診療所】													
14	医療法人社団晴心会平野眼科	0	0	9	9	0	0	0	0	9	9	0	0
15	医療法人社団清川医院	0	0	14	14	0	0	0	0	14	14	0	0
16	九重鈴木医院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	16
17	医療法人社団慶勝会赤門整形外科内科	0	0	19	19	0	0	0	0	19	19	0	0
18	医療法人社団紫陽会原クリニック	0	0	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0
19	医療法人社団涉仁会佐々木歯科・口腔顎顔面ケアクリニック	0	0	2	2	0	0	0	0	2	2	0	0
20	医療法人社団佐伯医院	0	0	5	5	0	0	0	0	5	5	0	0
21	医療法人社団マザー・キーファミリー産院たてやま	0	0	12	12	0	0	0	0	12	12	0	0
22	医療法人鉄蕉会亀田クリニック	0	0	19	19	0	0	0	0	19	19	0	0
23	医療法人社団花の谷クリニック	0	0	14	14	0	0	0	0	14	14	0	0
【未報告】													
	医療法人美篤会中原病院												
圏域 合計		141	141	1,111	1,122	202	202	496	512	1,950	1,977	71	16

※ 令和3年度病床機能報告の対象医療機関のうち、未報告の1医療機関の許可病床等(109床)は本資料に含まれていない。

※ 2025年の「休棟等」には、廃止予定の病床や介護施設へ移行を予定している病床数を含む。

## 4 令和3年度病床機能報告 機能別入院基本料・特定入院料

### ○安房保健医療圏

#### (1) 高度急性期

入院基本料・特定入院料	病床数(床)	構成比	構成比(全県)
急性期一般入院料1	36	25.5%	61.0%
救命救急入院料1	34	24.1%	1.5%
救命救急入院料2	-	-	0.3%
救命救急入院料3	-	-	1.1%
救命救急入院料4	-	-	1.0%
小児入院医療管理料1	-	-	2.8%
小児入院医療管理料2	-	-	0.8%
新生児治療回復室入院医療管理料	-	-	2.1%
新生児特定集中治療室管理料1	-	-	0.8%
新生児特定集中治療室管理料2	-	-	0.3%
総合周産期特定集中治療室管理料(新生児)	27	19.1%	0.8%
総合周産期特定集中治療室管理料(母体・胎児)	6	4.3%	0.6%
特定機能病院一般病棟7対1入院基本料	-	-	15.0%
特定集中治療室管理料1	-	-	0.8%
特定集中治療室管理料2	14	9.9%	0.2%
特定集中治療室管理料3	-	-	3.1%
特定集中治療室管理料4	-	-	0.6%
脳卒中ケアユニット入院医療管理料	-	-	1.4%
ハイケアユニット入院医療管理料1	8	5.7%	4.3%
ハイケアユニット入院医療管理料2	-	-	0.1%
有床診療所入院基本料	-	-	0.2%
不明	16	11.3%	1.2%
高度急性期 計	141	100.0%	100.0%

#### (2) 急性期

入院基本料・特定入院料	病床数(床)	構成比	構成比(全県)
急性期一般入院料1	755	68.0%	51.3%
急性期一般入院料2	-	-	2.3%
急性期一般入院料4	57	5.1%	14.7%
急性期一般入院料5	-	-	4.0%
急性期一般入院料6	-	-	2.0%
急性期一般入院料7	-	-	1.2%
地域一般入院料1	32	2.9%	2.4%
地域一般入院料2	-	-	1.4%
地域一般入院料3	-	-	4.9%
地域包括ケア病棟入院料1	52	4.7%	0.2%
地域包括ケア病棟入院料2	-	-	1.2%
緩和ケア病棟入院料1	-	-	0.4%
緩和ケア病棟入院料2	-	-	0.6%
救命救急入院料1	-	-	0.2%
小児入院医療管理料1	-	-	1.0%
小児入院医療管理料2	15	1.4%	0.6%
小児入院医療管理料3	-	-	0.2%
小児入院医療管理料4	-	-	0.2%
障害者施設等10対1入院基本料	-	-	0.4%
専門病院7対1入院基本料	-	-	1.4%
特定機能病院一般病棟7対1入院基本料	-	-	0.1%
ハイケアユニット入院医療管理料1	5	0.5%	0.0%
ハイケアユニット入院医療管理料2	-	-	0.4%
有床診療所入院基本料・有床診療所療養病床入院基本料	97	8.7%	6.0%
不明	98	8.8%	2.9%
急性期 計	1111	100.0%	100.0%



### (3) 回復期

入院基本料・特定入院料	病床数(床)	構成比	構成比(全県)
回復期リハビリテーション病棟入院料1	99	49.0%	50.9%
回復期リハビリテーション病棟入院料2	-	-	4.4%
回復期リハビリテーション病棟入院料3	-	-	11.6%
回復期リハビリテーション病棟入院料5	-	-	0.4%
回復期リハビリテーション病棟入院料6	-	-	0.6%
地域包括ケア病棟入院料1	52	25.7%	9.1%
地域包括ケア病棟入院料2	-	-	8.3%
急性期一般入院料5	-	-	0.5%
急性期一般入院料6 (注1)	51	25.2%	1.6%
地域一般入院料3	-	-	4.5%
緩和ケア病棟入院料1	-	-	0.8%
療養病棟特別入院基本料	-	-	1.9%
療養病棟入院料1	-	-	0.9%
有床診療所入院基本料・有床診療所療養病床入院基本料	-	-	2.4%
不明	-	-	2.1%
回復期 計	202	100.0%	100.0%

(注1)急性期一般入院料6には、以下の管理料の病床を含む。

- ・地域包括ケア入院医療管理料1 47床

### (4) 慢性期

入院基本料・特定入院料	病床数(床)	構成比	構成比(全県)
一般病棟特別入院基本料	-	-	0.3%
回復期リハビリテーション病棟入院料2	-	-	0.5%
緩和ケア病棟入院料1	-	-	0.4%
緩和ケア病棟入院料2	-	-	0.4%
障害者施設等10対1入院基本料	48	9.7%	8.9%
障害者施設等13対1入院基本料	-	-	1.5%
障害者施設等7対1入院基本料	-	-	5.3%
地域一般入院料3	-	-	2.4%
地域包括ケア病棟入院料1	-	-	1.0%
地域包括ケア病棟入院料2	-	-	0.4%
特殊疾患病棟入院料1	-	-	1.2%
特殊疾患病棟入院料2	-	-	1.0%
療養病棟入院料1	295	59.5%	59.2%
療養病棟入院料2	18	3.6%	8.3%
有床診療所入院基本料・有床診療所療養病床入院基本料	-	-	0.9%
不明	135	27.2%	8.3%
慢性期 計	496	100.0%	100.0%

※令和3年病床機能報告による医療機関から報告された病床数、入院基本料・特定入院料に基づき集計。

※入院基本料・特定入院料の報告がないものは「不明」としている。